

デンマーク王国との出会い



石山 明寿香さん (中学2年)

平成30年8月9日(木)から18日(土)までの日程で、『登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団』の一員としてデンマーク王国を訪問。ホームステイをしながら、デンマーク王国の文化にふれる。幼少期より、母にピアノを習い、全国大会での入賞経験もある。

私は、昨年、かけがえのない体験をしました。それは、『平成30年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団』の一員として、デンマーク王国を訪問したことです。

学校の先生から、この事業について教えられた私は、以前にピアノを習っていた先生から「情景を想像しながら演奏するために、一度、作曲家が生まれ育ったヨーロッパに行っただ方がいい」と言われていたことを思い出し、すぐに両親と相談して申し込みました。

初めての海外ということもあり、不安もありましたが、ホームステイ先では、私が教えた『いただきます』という日本語を食事のときに家族全員で言ってくれるなど、デンマーク王国の人々の優しさで、すぐにその不安もなくなりました。

を小さな子どもも熱心に聞いてくれていたことはとてもうれしい思い出です。

帰国後も、ホストファミリーとは、家族ぐるみで交流を続けており、もつとうまくコミュニケーションをとるため、これまで以上に英語を勉強しています。

デンマーク王国の文化や街並みを直接肌で感じたことで、演奏曲に込められた作曲家の思いが少し分かった気がします。この経験を生かしてピアノをもつと練習し、うまくなりたいと思います。

そして、また、いつか、デンマーク王国の人々にピアノを聞いてもらいたいと思っています。



▲デンマーク王国での貴重な数日間をともに過ごした仲間たち

空手に精進

僕は、空手の大会で一勝もしたことがないので、空手の大会で勝てるように努力しようと思います。

努力することの一つ目は、積極的に前に出て、突きや払いを正確にできるように頑張ろうと思います。

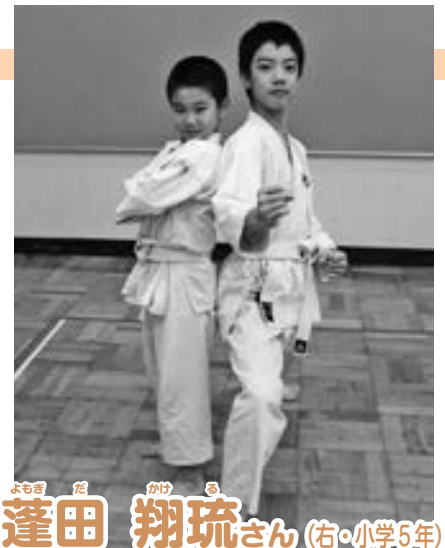
二つ目は、『形』を正確にできるように練習することです。僕は、重心がぐらついて身体が安定しません。もつと練習して、正確な形をできるように頑張ります。

三つ目は、素早く突きや払いをすることです。僕は、動きが遅いと言われます。だから、素早く動けるように練習しようと思います。

今年、この三つのことを努力して、空手の大会で勝てるように頑張っていこうと思います。

(蓬田翔琉)

僕が今年がんばりたいことは三つあります。



蓬田 翔琉さん (右・小学5年) と 海翔さん (左・小学2年)

平成29年5月にのぼりべつ文化交流館(カント・レラ)で行われた空手大会を観戦。その姿に感銘し、すぐに『IKO剛柔流美園空手クラブ』に加入を決意。現在は、週3回、先輩らとともに汗を流す。

一つ目は、大会で金メダルをとることです。そのために『形』を正確にして『組み手』は受けや払い、突きを一つ一つしっかりとしたいです。

二つ目は、新しい『形』を覚えたいです。今は『撃砕第一』と『撃砕第二』という形を練習しています。もつとたくさん形の形があるので、がんばりたいです。

三つ目は、メダルをたくさんとりたいです。そのためには強くなりたいとだめです。大会で勝てるように練習します。

空手でやりたいことがいっぱいあります。もつと強くなって、空手のチャンピオンになつてみたいです。

(蓬田海翔)



▲一つ一つの動きを確認しながら、練習に励む蓬田翔琉(左)さんと海翔さん(右)